

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証 学校の概要

大阪市立新今宮小

学校

児童数

32

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.73	20.33	32.67	38.60	43.14	9.59	144.20	19.47	51.86
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	16.12	22.88	44.53	36.41	33.25	9.90	143.18	12.41	55.38
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

男子は、「上体起こし」「長座体前屈」「反復横とび」「50m走」が大阪市平均を上回った。「握力」「20mシャトルラン」「立ち幅とび」「ソフトボール投げ」は、大阪市平均値を下回った。女子は「握力」「上体起こし」「長座体前屈」「立ち幅とび」は大阪市平均を上回った。「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「ソフトボール投げ」は大阪市平均値を下回ったが、大阪市平均と比べるとそんなに差はなかった。体力合計点においては、大阪市の男子平均点が51.13点に対して、本校の男子平均点は51.86点であった。また、大阪市の女子平均点は52.67点に対して、本校の女子平均点は55.38点であった。男女とも、体力合計点で大阪市平均点を上回ることができた。今後は男女とも「持久力」の体力を伸ばしていきたい。これらの結果から、学校では休み時間等によく外で遊んでいること、中学校での部活動に参加していることなどが要因として考えら、運動やスポーツに親しむ児童が多い。また、同アンケートの「運動やスポーツをすることが好きですか」の項目では、90%以上の児童が肯定的な回答をし、スポーツや運動の重要性について理解しているようである。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校は施設一体型の小中一貫校である。その特性を生かし、開校当初から、小学生（5・6年生）の中学校の部活動への参加を進めてきた。その結果として、各クラブ活動の活性化が図られ、成績をあげている事例もある。この活動をさらに進め、専門的な技術とともに体力面の向上も図ってきた。その結果、本校児童の体力が向上しつつある。また、小中合同での運動会では中学生の体力を身近に感じることができ、スピードや力強さに小学生の児童たちは、手本を見るように観覧している。夏の水泳学習においては、中学生と水泳学習に取り組む時間を設け、一緒に活動することで水泳学習の楽しさを感じることができた。冬場には、なわとびやかけ足を全校児童で取り組む期間を設定し、冬の寒さに負けない体力づくりに励むことができた。これからも、広い運動場がある本校の特徴を生かした活動を続け、さらに、運動やスポーツに親しみ、体を動かすことが好きになる取り組みを進めていきたい。

